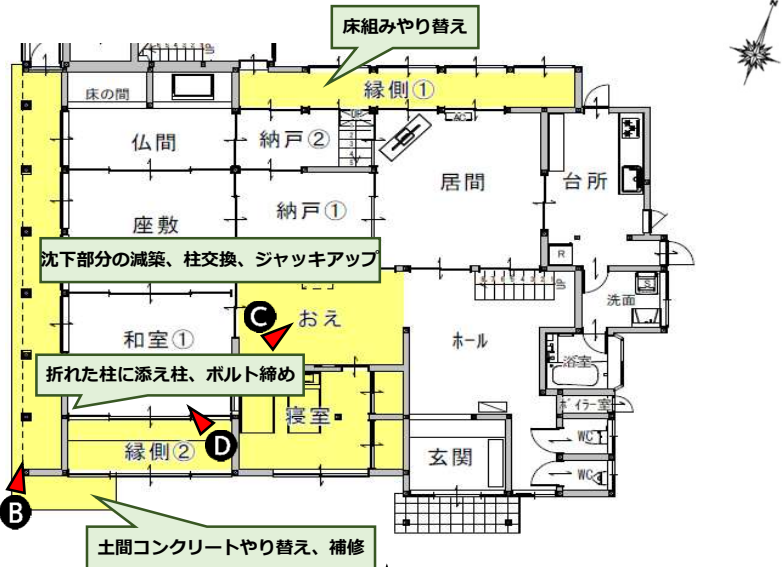


 審査シート ジェルコリフォームコンテスト2025		エントリー番号 4-7-0556-0	
タイトル 奥能登アーカイブ ～地震の記憶と中規模半壊の古民家再生～		応募部門：下記よりひとつを選んで●を入れてください ☐ 戸建て全面 ☐ マンション全面 ☐ リビングダイニング ☐ キッチン ☐ サニタリー ☐ 個室 ☒ 外まわり ☐ 玄関・ホール	
基本情報			
邸名 Y.U邸		築年数 100年 構造 伝統工法 造 2 階建	
該当部分工事費 780万円 総工事費 780万円		建築確認申請の有無 ☐ 有 ☒ 無	
増築面積 0㎡ 減築面積 12㎡		居住者 15歳未満 —人 15歳以上65歳未満 —人	
改装面積 46㎡ ※増築・減築の面積を除く		構成 65歳以上 2人 ペット 1匹	
建物の履歴（自宅、中古購入、空き家活用などの情報） ☒ 施主の居宅 74年居住 ☐ 空き家または中古住宅の活用			
所在地 都道府県 石川県 市町村 鳳珠郡穴水町		完成年月日 2025年3月25日	
施主様ご要望：リフォームの動機(140字程度で) 能登半島地震で被災し、中規模半壊の認定となる。このまま修繕して住み続けたいが、かなり古い家なのでそれが可能なことなのかを知りたい。		リフォーム前の平面図 	
プラン決定のポイントと工夫(140字程度で) 設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など		【BEFORE】家の状態を可視化	
住宅診断を行い、修繕の必要な箇所を可視化。建物西側が70/1000超の沈下、床下は束ズレが多く確認された。そこで西側は縁側部分を減築し、柱のジャッキアップと入替を行った。		リフォーム後の平面図 	
施主様ご感想：満足度など(140字程度で) 奥能登での新築の坪単価を聞きとても手がでなかった。古い家なので解体すべきか悩んだが修繕で安心できる家になった。外観も地震前と大きく変わらず、大好きな奥能登の風景を残す事ができて嬉しい。		【AFTER】伝統的工法建築の補修方法	
性能向上の特性（複数選択可） ☒ 劣化対策 ☐ 耐震性 ☐ 維持管理 ☐ 可変性 ☒ 省エネ ☐ バリアフリー			
選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字程度で)			
著書『熊本地震による伝統的構法建築の「全壊」と「半壊」を直す』（著：古川保）を参考に補修計画を考えた。			
性能向上で、準拠・参考にした数値（性能表示の等級など） （※わかれば改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入）			

リフォーム前の写真

リフォーム前またはリフォーム後の写真（どちらでも構いません）

BEFORE1:地盤沈下により大きく割れた犬

BEFORE2 : 大きく傾斜している縁側

リフォーム後の写真（作品テーマ、工事内容が明確に分る内容の写真。写真 4 枚程度）

A

伝統的な杉下見板貼とし、景観とのを意識した。

B

減築した縁側部分

縁側は減築、
ジャッキアップの上、柱交換をした。

C

床組み補修と共に梁上に新たに天井を設けた

D

縁側減築により和室と座敷は明るくなった